

竜王町地震ハザードマップ

揺れやすさマップ

揺れやすさマップとは

「揺れやすさマップ」とは、地形や地盤の状況をモデル化し、想定される震源との位置関係とあわせて地点ごとの震度を計算した結果を示したものです。計算は、約50m四方の「メッシュ」単位で行っています。自宅周辺や普段からよく行くところ、よく通るところなどについて、想定されている揺れの大きさを確認してみてください。また、地震に備えて自宅の家財などの転倒対策を行ったり、災害時の避難場所や地震が発生した時の対応などを家族や周囲の方と相談してみてください。

竜王町では、今後発生する可能性がある地震について町民の皆さまに関心と知識を持っていただき、日頃からの備えをしていただくことを考え、「地震ハザードマップ」を作成しました。

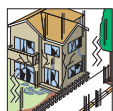
震度と揺れによる周囲の状況

5弱



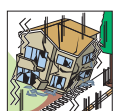
多くの人が、身の安全を図ろうとする。
棚に入った食器や本などが落ちることがある。
家具が動くことがある。
耐震性の低い木造住宅では、
壁や柱が破損するものがある。

5強



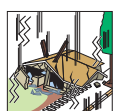
多くの人が行動に支障を感じる。
タンスなどの家具が倒れることがある。
変形でドアが開かなくなったり、戸が外れることがある。
耐震性の低い木造住宅では、壁や柱がかなり破損したり、
傾くものがある。

6弱



立っていることが困難になる。
重い家具の多くが移動したり倒れたりする。
家屋の変形でドアが開かなくなることが多い。
耐震性の低い木造住宅では、傾くものがある。
耐震性の高い住宅でも、壁や柱が破損するものがある。

6強



立っていることができません、はわないと動くことができない。
固定していない家具のほとんどが移動・転倒する。
耐震性の低い木造住宅では、倒壊するものがある。
耐震性の高い住宅でも、壁や柱がかなり
破損するものがある。

想定した地震

琵琶湖西岸
断層帯位置図



竜王町周辺の活断層の中で、特に地震が発生した場合、大きな揺れが想定される**琵琶湖西岸断層帯地震**を想定して震度を計算しました。

想定マグニチュード

7.8

30年以内の発生確率

0.09～9%※

※全国の主要な活断層の中でも、「発生する確率が高いグループ」に含まれます。

凡例

建物全壊率

震度5強
震度6弱
震度6強

緊急輸送道路

その他の幹線道路

町役場



ここで表示した震度は、地震の規模や震源からの距離により想定される平均的な揺れの強さであり、地震の発生の仕方によっては、揺れの大きさは表示された震度よりも大きくなったり、小さくなったりすることがあります。

 ここで表示した危険度（建物全壊率）は、「揺れやすさマップ」に示されている想定地震の揺れの強さになった場合に、建物にどの程度の被害が生じるかを50mメッシュごとに評価し、建物全壊棟数率の分布を相対的に示したものです。